

第 99 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 3 年 5 月 31 日(月)10：30～11：45

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

○ 会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 緊急事態宣言下における取組について、各本部員から報告があった。

1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部長、下地 文化観光スポーツ部長、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、糸数 技監兼保健衛生統括監、諸見里 医療企画統括監、木村 宮古・八重山保健所長（TV 会議システム参加）

2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から、新規陽性者及び療養者の状況について報告。【資料 1】
 - ✓ 本日の新規感染者は 171 人、この 3 日ないし 4 日で千人となり、最も早い増加スピードで 1 万 7 千人を突破する見込みです。
- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
 - ✓ 県立病院全体で 159 名の新型コロナ患者を受け入れており、1 週間前から 52 名増加確保病床の 72.3%を占めている。
 - ✓ 各県立病院として、北部病院 32 名は殆ど中等症、中部病院は ICU 4 床、南部医療センター ICU に 4 床を確保・一般診療の制限も視野に入れている。宮古病院は整形外科病棟を閉鎖して対応。八重山病院は ICU に重症 3 名、殆ど中等症の患者が

多く、一般診療の制限を考慮している。

- ✓ コロナ以外の救急の確保が必要であり、民間病院にも協力を求めている。

(2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 配布資料のとおりであり、説明を省略した。【資料 2】

(3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料 3、3-1~3-9】

- 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
- ✓ 療養者数 2621 名で過去最多を更新、新規陽性者の 1 週間合計が 1821 名で先週は 1222 名、更にその前の週 5 月 6 日時点では 775 名でした。先々週から先週が 1.6 倍、先週から今週が 1.4 倍となっている。
- ✓ 中等症が、355 名とかなり増えている。
- ✓ コロナの病床は 582 床まで協力して貰っている。非コロナの一般病床利用率については、本島で 93.8%であり、県全体でも 92.8%と高い水準で推移している。
- ✓ 直近 1 週間の人口 10 万人当たり新規感染者数は、全国ワースト 1 位である。2 位の北海道の倍近くの差がある。他県は減少に向かっているが沖縄県だけ増え続けている。
- ✓ 保健所管内ごとの 1 週間毎の新規感染者比較。那覇市・八重山の増加が緩やかになっているように見える。南部保健所管内、中部保健所管内、宮古島市がかなり増加している。
- ✓ 市町村別の 10 万人あたり直近 1 週間の新規感染者数を比較すると、市部では全て 100 人を超えている状態である。また、感染経路について家庭内感染が多いのは相変わらず、飲食関係は数が増えた分の増加、逆に学校関係が連休明けから一気に増加している。
- ✓ 新規感染者に占める 60 歳以上の割合は、15%前後で推移しており、依然として若者が流行の中心である。
- ✓ 中等症以上の症例数が増えてきていて、新しい患者の入院調整が、非常に困難とな

ってきている状況である。

(4) 宿泊施設の運用状況について【資料4】

- 総括情報部から、宿泊施設の入所状況等について報告。

(5) 沖縄県内の人口変動状況について【資料5】

- 総括情報部から、人口変動状況等について報告。
 - ✓ 大きく人口が増加した場所はない。緊急事態直前の土日までの状況が出ている。

(6) クラスターの発生状況について

- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告。
 - ✓ 宮古島市内のガールズバー、ビーチパーティー、職場内で3件のクラスター発生が確認されている。

(7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料6】

- 総括情報部から、宮古・八重山の感染状況について報告。
 - ✓ 宮古島もこの2週間はずっと増加傾向になる。
 - ✓ 八重山は、宮古よりも増加が大きく新規感染者の1週間合計が101名で、入院者に2名の重症者もいる状態である。
- 宮古保健所長兼八重山保健所長から、宮古島の感染状況について報告。
 - ✓ 宮古はある程度高止まりといった状況になってきている。クラスターが複数あり地域に拡散している。
 - ✓ 国立感染研から2名派遣があり疫学調査をしている。
 - ✓ 飲食店の見回りについて、本部からの人員と市が連携して行った。
 - ✓ 宮古地区の出先機関で会議を行い、短期で2名の応援をお願いしている。なかなか各出先期間ともにBCPが進んでいないとのこと。市役所から疫学調査に対する応援して貰っていたが、市がワクチン接種で忙しくなり本日までの応援となっ

た。

- 宮古保健所長兼八重山保健所長から、八重山の感染状況について報告。
 - ✓ 八重山保健所は、感染の増加がまだ続いている。検査体制はまだ頑張っているが
増え続けている。
 - ✓ 応援態勢として、合同庁舎から2名応援、本部から保健師が応援してもらっている。

(8) 変異株について【資料7】

- 総括情報部から、変異株スクリーニング検査の結果等について報告。
 - ✓ N501Y 変異株について、313件検査したうち283件が陽性で、90.42%となり、前の
週よりかなり増加しており、置き換わりが進んでいる。

(9) ワクチン対策チーム進捗状況について【資料8】

- 総括情報部から、ワクチン対策チーム進捗状況について報告。
 - ✓ 医療従事者が1回目のみで82.4%、2回目までで59.8%
 - ✓ 高齢者向けが、1回目のみで10.7%、2回目までで1.1%。7月終了が35市町村か
ら増加する見込みです。

(10) PCR検査事業実績について【資料9】

- 総括情報部から、検査事業について報告。
 - ✓ 安価なPCR検査について、1週間で6550人受検278人陽性となり陽性率4.24%。
累計では、1.83%の陽性率となっている。
 - ✓ 飲食店検査の実績として、先週5/15から5/21の間に陽性率9.52%と非常に高い数
値となった、今週5/22から5/28でも陽性率3.30%となっている。
 - ✓ 介護従事者向けの検査として、4月後半から再開しており、5/24-5/28のみで10名
の陽性者を確認した。

(11) NAPP・TACO・RICCAの運用状況等について【資料10】

- 文化観光スポーツ部からNAPP等の運用状況を報告

- ✓ NAPP では、5/24 から 1006 件の検査を実施して 8 名の陽性が確認され、全て県内在住者であった。トピックとして、離島空港PCRプロジェクトが6月3日から運用開始、久米島空港は7月予定。
- ✓ サーモグラフィー通過者は、先週比 1 万 7 千人減の 6 万 4 千人となっている。

(12) 感染防止対策認証制度について【資料 11】

- 保健医療部から感染防止対策認証制度の開始について報告
- ✓ 飲食店等に対する経営環境支援と利用者の意識醸成を目的に、本日から申請受付開始。認証制度は、まず飲食店から開始しホテルにも広げる予定。

(13) 緊急事態宣言下における取組等について【資料 12】

- 総括情報部から広域ワクチン接種センターについて報告
 - ✓ 中南部に 2 カ所 6 月中旬から 8 月末まで実施予定。県医師会が接種を担う予定、本日夕刻に知事から要請予定
 - ✓ 中部地区は、沖縄コンベンションセンター。南部地区は、沖縄県立武道館アリーナで予定。
- 総括情報部から兼務・併任・動員の状況を報告
- 総括情報部から宿泊療養施設の確保状況について報告
 - ✓ 那覇市内のホテルで交渉を進めていて近日中に確保見込み。併せて看護師の確保に動いているところ。
- 総括情報部から入院待機ステーションの検討状況について報告
 - ✓ 今後、救急車で長期待機が必要になることを想定して、施設を調査しているところ。
- 総括情報部から学校で発生した場合の対応について報告
 - ✓ 本日、学校PCR支援チームとして設置、教育庁の職員とコロナ本部の職員で対応を行っていく。
- 総括情報部から昼の営業時間における酒類提供等の確認について報告

- ✓ 5月26日、28日に県職員で実施。昼営業は可能だが酒類提供自粛要請を行っているのでその確認を行った。6月1日からは業者委託により引き続き実施する予定。

➤ 総括情報部から推定感染源が飲食関係の陽性者数について報告

(報告事項に関する主な発言)

➤ 広域ワクチン接種センターの会場の調整状況について文化観光スポーツ部から追加報告

- ✓ コンベンションセンターは、6/14から利用予定として調整を実施。その期間中予約が既があり、資格試験等であり動かしづらい展示棟に、予約がある日は会議棟で実施する方向で考えている。

- ✓ 県立武道館は、6/14か21から開始予定。予約を行っている中体連と高体連と意見交換を実施している。指定管理者からは、可能な限り公共交通機関を使うよう促したりするなどの細かい調整が必要。九州大会レベルについて利用したいとの意向がある、県大会レベルの大会について延期等や会場替えを依頼している。

➤ 教育長から、石垣市から小中学校を休校するので高校の休校が出来ないかとの打診があった。応じるように調整している。

→ 他の地域はどうなっているのか。

- ✓ 他の地域からは、特に申出はないが、最近では家庭内感染でなく子どもから子どもへの感染事例もあり緊張感を持って対応している。

➤ 国からの対処方針でも、増加高止まり中の場合は都道府県の独自の判断により実施するようにとあるので、酒類提供自粛についてももしっかり見回り等を徹底してもらいたい。また、命令等の運用について今後の予定を教えて欲しい。

→ 前回命令した14店舗中、8店舗は応じていただき名簿公表から削除した。

そろそろ、業者の確認が1巡するので、事前通知及び命令を準備している。本日、那

覇市と宮古島市の違反店舗について、事前通知書を送付する。

- 広域ワクチン接種センターについて、市町村と対象者振り分けの考え方を教えて欲しい。
→市町村に進捗状況確認を行うと同時に振り分けについても意向を確認していく。
また、8月末までとしているのは高齢者接種後の一般接種についても対応していきたいため。
- 広域ワクチン接種センターの会場について、文化観光スポーツ部に担当課があるが、場所を担当している課の人員が総括情報部に派遣されているのか。
→派遣は受けていないが、会場の確保については、文化観光スポーツ部と教育庁に協力をして貰って対応している。
- 細かい調整が多くなると思うので、一つのテーブルで調整出来るようお願いする。
- 認証制度についてだが、緊急事態宣言中であり飲食店に対し休業要請を行っている状態で認証を始めてしまうと誤解を与えてしまうのでは無いか。緊急事態宣言中にしっかり準備を進めて、行動抑制を求めているので誤解ないようにしたらどうか。
→趣旨としては、店舗にしっかり準備をさせるという意図で始めたが、ベクトルが異なるととらえられる恐れがあるので、準備を進めるが認証の時期を検討したい。
- 学校及び保育所で、一気に増加しているのが分かる。なんらかの対応について県民・保護者へメッセージを出す必要はあるのではないかと。教育委員会はどのように取り組んでいるのか。
→緊急事態宣言下における教育活動として、マニュアルを策定し、本日から分散登校を開始、高校総体については無観客、生徒向け及び保護者向けのリーフレットを送付して気をつけるよう求めている。同様の協力を市町村教育委員会にも求めている。

→ 保育所においても感染が拡大している。保育所職員向けのPCR検査も6月中旬から開始予定としている。

- 今の状況、昨年の1年の数字がわずか2ヶ月で表れているということを県民・保護者に向けて協力を含めて送付する必要があると思う。教育委員会として、県としての指導方針を示すようお願いする。

→ ご指摘の通り、保護者にメッセージが届くよう取り組んでいきたい。

3 その他報告

- 各部から緊急事態宣言下の取組について報告

- ✓ 総務部から、職場への出勤者の削減について取り組んで貰っているが、更なる取組が出来ないか検討をしている。方向が決まったら通知を出す予定。
- ✓ 病院事業局から、中部病院と南部医療センターが予定確保病床に達していない。特にセンターが小児用の病床が多く、コロナ病床の確保が厳しい状況である。
- ✓ 子ども生活福祉部から、保育士、障害者施設の職員向けのPCR検査が始まる。

- 本部長から、全ての部局から取組状況の報告をするよう指示有り。上部団体から通知がないという意見もあるので、県民にしっかり県の通知が届くよう確認するよう指示。

4 閉 会